

12月定例会号

# わかやま 市議会 だより

No.112 令和6年(2024年)2月1日発行

目次

- ・特集 福祉ネイルでコミュニケーション!  
“元気と癒やし”お届けします! P2
- ・12月定例会の概要 P4
- ・採決状況 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・市議会からのお知らせ P12

NAIL

BEAUTY

爪も心も

カラフルに!

福祉ネイルでコミュニケーション！

# 「元気と癒やし」をお届けします！



爪先をカラフルに彩るネイル。若者だけの特権だと思いませんか。今回は、介護予防として注目を浴びている「福祉ネイル」を和歌山に広めようと奮闘されているお二人にお話をお伺いしました。

## ネイル×福祉 認知症の予防に

今回お話をお伺いしたのは、福祉ネイルリストの田中さんと岡本さん。福祉ネイルとは、高齢者や障害を持つ方に対して、福祉施設などで爪を手入れしマニキュアを塗るなどネイルケアをする出張型の訪問美容サービスのことで、千円から2千円程度で利用することができます。

一般的なネイルとの大きな違いは、介護予防的に認知症予防を目的としていることです。ただ単に爪のおしゃれを楽しむだけでなく、施術する時間の中で手と手を触れ合い、目と

目を合わせて会話をするなど、利用者とのコミュニケーションを大切にしています。

施術中は、幼少期から現在に至るまでを会話の中で引き出す「回想法」を使い、脳を活性化。また、利用者が見つめ合う、手や指先に優しく触れる、施術を行う場所まで移動してもらうなど、福祉ネイルの施術には、「見る」「話す」「触れる」「立つ」といった要素が含まれており、フランス発祥の「ユマニチュード」という認知症ケアに通ずるそうです。

福祉ネイルリストは、一般社団法人日本保健福祉ネイルリスト協会が認定する資格で、ネイルケアに加え、高齢者や障害者の特性などを学び、福祉施設での実習などを修了し認定となります。現在、和歌山県内では27名、和歌山市内では14名が認定されています。

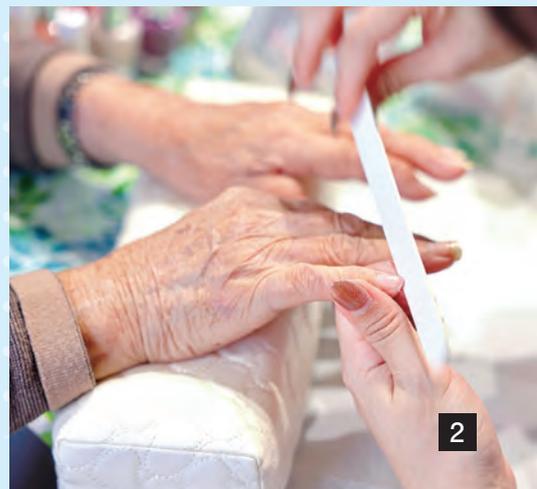
## プロフィール

たなか みさき  
田中 美早紀さん(左側)

ゼロエイトネイル&スクール主宰。和歌山市内で唯一、福祉ネイルリスト養成校を立ち上げ、福祉ネイルリストの育成に力を入れている。

おかもと はるか  
岡本 治加さん(右側)

事務の仕事と福祉ネイルリストの2足のわらじを履き、福祉ネイルで元気を届けたいと積極的に活動している。





「今日はどんな色にしますか?」「今日はどんな絵を描きましょうか?」  
 実際の施術は、丁寧な話し掛けから始まります。最初は恥ずかしがっていた利用者も、ネイリストと和やかにコミュニケーションし、爪が美しくなるにつれ、どんどん表情が明るく生き生きとし、気持ち晴れやかになっているのが分かります。さらに、施

## 広がる笑顔の輪 周りもハッピーに

術後の爪を見せ合ったり、施設の職員や家族からも「いい色やなあ」「似合ってるなあ」と声を掛けられるなど、ネイルをきっかけに会話が弾み、笑顔の輪がどんどん広がっていきます。  
 好きな洋服を着たりきれいにお化粧をしても、鏡を見なければその効果は実感できません。しかし、手元は常に目に入るため、マニキュアでカラフルに塗られた爪を見るたびに楽しい感情が沸き起ります。普段の生活にネイルで彩りを添えることは、非日常的な瞬間を感じることができ、外出するのと同じくらいの効果があると施設の方は話してくれました。



## 目標は楽しく 健康寿命延ばす

普段、全く言葉を発しない方が、ネイルの施術後に自ら「ありがとう」と話してくれたり、閉じこもりがちだった方がネイルの施術をきっかけに、家族と会話が生まれ、積極的に外出するようになったり。福祉ネイルで生き生きと過ごせる時間が増えることは、介護を担う周りの人々の負担軽減にもつながります。福祉ネイルで楽しく健康寿命を延ばすこと、さらに、福祉ネイルの介護保険サービス適

用が全国の福祉ネイリストの目標です。

高齢化が進む今日、一日でも多く元気で楽しい時間を積み重ねたいものです。市議会としても、他種多様な福祉のニーズをくみ取り、全ての人が生き生きと輝く社会の実現に向け、全力で取り組んでいきたいと思えます。



## 編集後記



高齢者施設内での福祉ネイルの施術の場を取材しました。この日希望されていた数名の高齢者が色やデザインを合わせながら、朗らかな会話が弾んでいました。指先の小さなネイルアートが、その人の気持ちを明るく和やかにすることを実感。誰もが生涯自分らしく元気に過ごすため、福祉ネイルが今後広く認知されるように私たち議員も応援していきます。

特集担当: 堀 良子、山路 恭世

# 12月定例会の概要

## 開会

### 12月5日

- ・会期の決定(12月5日～12月22日)
- ・議案説明(報告関係2件、議案24件(補正予算案7件、条例案8件、その他9件))
- ・決算関係の議案(令和5年9月定例会市議会議案)
- ・決算特別委員会の委員長報告
- ・反対討論(坂口議員)、採決

## 一般質問等

### 12月7日

- ・堀 良子議員、林元光広議員、坂口多美子議員

### 12月8日

- ・西風章世議員、赤松良寛議員、森下佐知子議員

### 12月11日

- ・追加議案の説明(補正予算案2件、条例案1件)
- ・浜田真輔議員、南畑幸代議員、山本忠相議員

### 12月12日

- ・古川祐典議員  
(P6～P9に概要掲載)
- ・議案の委員会付託

## 常任委員会

### 12月13日～18日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

### 12月19日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決  
(P10～P11に概要掲載)

## 特別委員会

### 12月20日

- ・地震等災害対策特別委員会

## 閉会

### 12月22日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員、山野議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件3件)、採決
- ・議員発議(意見書案1件、決議案1件)
- ・うち1件反対討論(森下議員)、採決

### 令和5年度予算(12月補正後)

一般会計	1,607億5,091万5千円 (補正額58億5,152万8千円)
特別会計及び公営企業会計	1,394億5,216万9千円 (補正額△1,486万7千円)
合計	3,002億308万4千円

### 補正予算の概要

一般会計では、緊急自然災害防止対策事業、ポンプ場運転管理事業、保育体制強化事業、プレミアム付商品券事業、物価高騰重点支援給付金事業(住民税非課税世帯)、準用河川改修事業、コミュニティセンター建設事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、令和6年1月から実施される産前産後期間の保険料の軽減措置に対応するためのシステム改修に要する経費などが計上されました。

これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

## 和歌山発電所建設計画の見直しについて緊急協議を行いました!

和歌山市議会ではこれまで、西防波堤沖埋立地にLNG火力発電所を建設する計画に関して、多年にわたり議論を重ねてきたところです。このたび、関西電力株式会社から、同計画を中止し、和歌山市の更なる活性化を目指し、令和8年度をめどに一部を企業誘致エリアに整備する旨の発表が行われました。このことについて、本市議会は、令和5年12月20日に全員協議会を開催し、尾花市長から議題「和歌山発電所建設計画の見直し及び和歌山市の方針について」の説明を受けた後、各議員から市長に対して質疑が行われました。



全員協議会の様子



ピックアップ **一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継をご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



はやしもと みつひろ  
**林元光広**

予防接種健康被害救済制度

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種が始まった令和3年7月から令和5年1月まで全国で死亡者数が増加している。ワクチン接種との因果関係も疑われるが、接種により健康被害を受けた方への救済について、国の予防接種

健康被害救済制度がある。令和5年11月末現在、本市では新型コロナウイルス接種による同制度の申請件数が30件、うち認定が13件、否認が1件である。

申請に必要な書類の発行費用が高いため申請を諦めた方もいる中、泉大津市や名古屋市などのように、申請に係る負担軽減のため、独自に支援金を支給している自治体もある。

**答** 現状では、新型コロナウイルスワクチン接種に限つての本市独自の支援は困難であると考える。引き続き健康被害の相談では市民の皆様が不安や心身の不調に寄り添い丁寧な対応に努めていく。

介護予防事業

**問** 運動で介護予防に貢献している「わかやまシニアエ

クスサイズ」や「WAKAYAMA A MA つれもて健康体操」のような自主グループの活動は、できるだけ継続し、より地域に広げていくべきだと考える。

そこで、健康意識が高く行動力のある元気な市民が集まっていると思われる国保運動教室の参加者に対して、介護予防事業担当者が広報目的で何うことはできないか。



**答** 現在、国保運動教室の参加者に、「わかやまシニアエクスサイズ」と「WAKAYAMA A MA つれもて健康体操」のチラシを配布しているが、併せて介護予防担当者が国保運動教室に出向き、自主グループ活動について広報することは、健康意識の高い

方への働き掛けであることから大変有効であると考え、ため実施していく。



はまだ しんすけ  
**浜田真輔**

和歌山市北東部の今後

**問** 県道西脇山口線の全線開通、和歌山北インターチェンジの設置は、地域住民の利便性の向上、生活関連施設の充実、北部地域の産業、雇用の創出などに寄与している。また北東部地域の悲願であった新六箇井堰の一部切り欠き実現や七瀬川の改修により治水対策の期待は高まっている。今後は地域の社会資本整備が進み、より安心して暮らし続けられる地域になるとの期待が高まっていくと考える。今日までが北東部地域の躍進の第1ステージであったとすれば、和歌山北インターチェンジのフルインター化は飛躍の第2ステージの第一歩と考える。和歌山市北東部の今後と和歌山北インターチェンジのフルインター化に

向けた取組についてどのよう

**答** 道路網の整備による和歌山市北東部地域の更なる機能強化は北東部地域をはじめ、本市全体の発展に寄与するものと考え、

また、和歌山北インターチェンジのフルインター化は、北東部地域の発展のみならず大規模災害時に重要な役割を果たすものと考えており、国へ要望活動を行っている。フルインター化の実現については、課題や構造について検討し、早期の事業化に取り組んでいく。

小学校給食

**問** 小学校給食費無償化は、多額な費用が必要な事業でありながらも国からは財源や具体的な施策が示されず、国・県の給食費に関する動向も不透明である。しかし、小学生の子供を持つ子育て世代の保護者は給食費無償化の継続を望む声が多く、また教職員は学校給食費の徴収義務が無くなり事務負担が軽減したとの声もある。令和6年度及び今後の小学校給食費についてど

のように考えているか。



**答** 小学校給食費の無償化には、多額の費用が必要なことから、国や県に支援を要請してきたが、明確な回答がないため引き続き財政支援を求めつつも、本市としては独自に令和6年度及び今後の小学校給食費の無償化を実施していく。



ふるかわ まさのり  
古川 祐典

**和歌山城LEDカラー  
ライトアップ常設化**

**問** 本市のランドマークである和歌山城の魅力向上と市民活動を盛り上げ、本市のおもてなしを感じてもら

えるよう、天守閣のLEDカラーライトアップ設置を検討すべきと考える。8年前にも質問したが、市長の考えはどうか。

**答** 城の魅力向上にとどまらず、中心市街地の活性化にも寄与すると考えており、早期実現に向け取り組んでいきたいと考えている。

**陸奥宗光伯顕彰**

**問** 本市の偉人に対して、呼び捨てではなく、陸奥宗光伯という称号や敬称を状況に応じて付けるべきだと考えるがどうか。また、陸奥伯の銅像の存在が、初めて訪れた方にも分かるよう案内を設置してはどうか。

**答** 平成29年6月定例会市議会において、故宇治田議員からご指摘いただいて以降、庁内で「伯」として統一しているが、改めて全庁的に周知を行う。また、陸奥伯の銅像案内について、最適な場所を検討の上、看板設置を早急に進める。

**問** 中学校の修学旅行を通して、陸奥伯の功績を学ぶ機会を取り入れてはどうか。

**答** 修学旅行で東京を訪れる学校については、外務省を訪れ、その役割や外交について学ぶとともに、郷土の偉人に触れる機会を持つことを検討するよう、校長会等で指示していく。

る学校については、外務省を訪れ、その役割や外交について学ぶとともに、郷土の偉人に触れる機会を持つことを検討するよう、校長会等で指示していく。



陸奥宗光先生乃像(岡公園内)

**問** 来年開催予定の第36回龍馬ワールド in 和歌山「龍馬と宗光 未来への伝言」の大会に本市の子供たちにも参加してもらい、偉人を学べる機会とすべきと思うがどうか。

**答** 参加できる内容を確認の上、学校へ周知していく。

**問** 全国規模の大会は、陸奥伯を知ってもらう絶好の機会である。市長の言われる気概を実践、発揮すべきだと思ふがどうか。

**答** 陸奥伯が注目していただける絶好の機会であると考

えている。そうした中、博物館での企画展、陸奥伯ゆかりのパネル展など関連する知見を深める機会を設けたいと考えており、功績を積極的に発信する。



ほり よしこ  
堀 良子

**公明党議員団**

**デジタル人材育成**

**問** デジタル田園都市国家構想が策定される中、本市においてもテレワークの推進等による仕事づくり、デジタル人材の育成と地域への還流を図るべきと考える。そこでデジタル人材育成支援事業を実施してはどうか。

**答** 本市に適した教育体制や事業者との連携体制を構築し、早期にデジタル人材育成講座の開催や就労支援等の事業を実施していく。

**不登校支援**

**問** 昨年度、全国で不登校の小中学生が過去最多に上

り、本市でも年々増加の傾向にある。不登校支援は、全ての児童生徒が安心して学ぶことができるように緊急支援的に手を打たなければならぬほどの最重要課題と認識している。



そこで、我が子の不登校で悩む保護者への支援として自由に参加できる保護者の会を設置すべきではないか。また、自分の教室に行きづらくなった児童生徒が学校で落ち着いて学習できる環境である「スペシャルサポートルーム」を、全ての小中学校で設置すべきと考えるがどうか。さらに、本市の子ども支援センターにおいて、不登校の児童生徒のため、1人1台端末を活用したオンライン支援体制を確立すべきと

考えるがどうか。

**答** 子ども支援センター等が関係機関と連携して保護者同士が自由に話し合えるセミナーや懇談会を実施する。また、スペシャルサポートルームの設置は人員配置を県と協議するとともに、各学校に応じた対応を検討する。さらに、様々な事情で、子ども支援センターのふれ愛教室への通級が難しい児童生徒には、オンラインによる個別面談や交流会を含め支援策を検討する。



にしかぜ あきよ  
西風 章世

### 夜間中学の設置

**問** 令和5年10月現在、全国で17都道府県44校の夜間中学が設置されている。夜間中学の生徒は、外国人や不登校だった方の学び直し、戦後混乱期に学校に通えなかった方など様々である。増加する不登校児童生徒やその経験者にとって、夜間中学は将来の進学等に向けた希望となっている。学び

のセーフティネットとしての役割を果たしているのが、夜間中学であると考えている。

本市において、夜間中学の早期設置に向けて取り組むべきだと考えるが、市長の考えはどうか。



**答** 本市でも、市立の夜間中学校を令和7年度には開校できるように、準備を進めていきたいと考えている。

### 心のサポーター養成の推進

**問** 心のサポーターは、メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識を持ち、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚等に対して、傾聴を中心とした支援を行う方である。心のサポーターが身近にすることで、孤立せず、安心感を得ることができ、

また、精神疾患の予防や早期介入にもつながる。まずは、心のサポーター指導者の養成に力を入れ、国が目指す100万人の心のサポーター養成に向けて取り組む必要があると考えている。

本市でも、心のサポーター養成に積極的に取り組むべきだと考えるがどうか。

**答** 心のサポーター指導者養成研修を受講し、心のサポーター養成を推進できる体制を確保し、一般市民を対象とした養成研修の開催や、市職員等にも受講していただけるよう積極的に取り組み、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進していきたいと考えている。

### 民主クラブ



やまもと ただすけ  
山本 忠相

### 子育て環境日本一

**問** 長く経済停滞が続き、家計所得が低下した結果、夫婦共働き世帯が増加し

た。子供を授かり育て始めると、家計を支えるためには早期に職場復帰しなければならず、保育所にすんなりと入れればいいが、それがかなわない現状がある。

経営者は事業所内保育所の設置を進めるものの、厚生労働省の助成制度は10年で打ち切られ、この制度自体に問題があると考えている。認可保育所へ転換する方策も考えられるが、市全体として受入れ枠に余裕があるため新たな認可を行わない方針と聞いているがどうか。

また、いまだに本市には待機児童が存在し隠れ待機児童も存在する可能性が高いと推察される中で、入所体制が整わないのはなぜか。



**答** 既存の認可保育所等の

認定こども園化を含む施設整備を行うなど、0歳児から2歳児までの定員の増加を図って、待機児童対策を行ってきた。市全体では定員に空きはあるものの、保育ニーズの地域偏在や保育士確保の難しさなどから、待機児童が発生している状況である。保育ニーズの地域偏在を調整するとともに、既存認可保育所の施設整備を行うなどして、待機児童の早期ゼロ化に努めていく。

### 狭あい道路の整備

**問** 更地のままか既存の道路部分と一体となっていない状態のセットバック部分において、軽自動車が何とかわ通れる幅員の道路で路面が異なるのと歩きにくく、シニアカーの車輪が取られるなど不都合が生じている。

セットバックした部分の路面舗装を補助するのは、既存部分と一体化させて道路としての性質を高め、より通行の安全性と利便性を確保するためと考えるが、現状、舗装は進んでいない。そこで、制度変更や補助額の引上げで整備促進を図るべき

だと思いがどうか。  
**答** 狭あい道路の拡幅整備を促進するには、安心・安全なより良い生活環境をつくり出すという制度の趣旨を理解してもらうことが大切であり、道路後退の意義や制度・手続を分かりやすく説明することで利用促進を図る。また、制度の見直しや補助額の変更の必要性についても検討していく。

和歌山興志クラブ



あかまつ よしひろ  
赤松 良寛

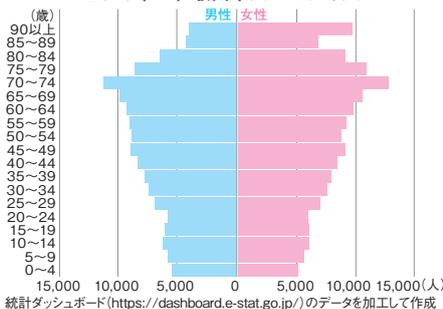
本市の人口問題

**問** 本市の人口は1985年の40万1352人をピークに下がり続け、今では35万人を割っている。市税の中心は固定資産税と個人市民税で、建物の新築が減れば固定資産税収入は減少し、同時に生産年齢人口の減少に歯止めを掛けないと市民税収の見通しも立たないため、なんとしても人口減少

を止めなければならない。

本市への移住定住の推進には、働く場所の提供や安心して働けるための保育の充実が必須条件であり、事業者側としては働き手があるか否かが本市への進出や地元企業の事業拡大にとって重要である。さらに空き家問題も流入人口の受け皿として活用するべきである。

2045年の和歌山市人口ピラミッド



自然災害への準備も大切だが、将来必ず訪れる深刻な人口問題に対して、今、人口減少に歯止めをかけることは喫緊の課題であり、今こそ一丸となって取り組むべきだと考える。

本市の人口の社会増を図るために縦割り行政の弊害を打破し、本庁に部局の枠を越えた人口対策本部をつ

くることを強く提案するが、市長の見解はどうか。  
**答** 今後、継続的な社会増の実現を含む人口対策を実現するためには、ポストコロナに向け、DX、GX、公民共創など新たな潮流も捉えた総合戦略を立て、その戦略を機動的、弾力的に実行していくことが重要である。そのためにも、部局の枠を越えた全庁的な人口対策本部を設置し、私自身が本部長となり、あらゆる政策を総動員しスピード感を持って「住み続けたい、住みたいと選ばれるまち」を実現し、早期に本市の人口を社会増に転じていく。

日本共産党議員団



さかぐち たみこ  
坂口 多美子

少子化対策

**問** 出生率向上を掲げての結婚推奨は女性の自己決定権の侵害に当たると考える。現状を直視するなら、不

安定雇用や待機児童問題など若者が結婚・出産を諦めざるを得ない現状を解決することが先決ではないか。  
**答** 関係課と連携し若い世代が希望の持てる社会づくりに努めていく。

栄養職員の配置



もりした さちこ  
森下 佐知子

**問** 栄養職員は食育と学校給食の重要な担い手であるが、全ての学校に配置されておらず不十分である。常駐していない16校へも配置すべきだと考えるがどうか。  
**答** 市費負担で全ての学校に配置する考えはないが、県に加配を、国に定数配置の拡充を要望していく。

学童保育



みなみはた さちよ  
南畑 幸代

**問** 今年度の待機児童数は、4月末で191人、8月末

で225人、12月初めで124人であり、対応ができていない。市長として待機児童解消問題を最優先課題とすべきだと思いがどうか。  
**答** 待機児童の解消は、早期に解決すべき課題だと考えている。

声の市議会だより  
(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課  
☎435-1120 までご連絡ください。

次の定例会は、  
2月です!



# 委員会審査の概要

## 総務委員会

当委員会に付託された議案12件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第11号、あらたに生じた土地の確認について、及び議案第12号、字の区域の変更について。これは、和歌山県が埋め立てた和歌山市湊字青岸坪地先で、公有水面の埋立てがしゅん工したので、新たに生じた土地及び面積を確認するとともに、字の区域の変更として湊字青岸坪の区域に編入するものです。

議案第21号、和歌山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について、及び議案第22号、和歌山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、和歌山市人事委員会が行った職員の給与等に関する報告及び勧告に基づく給料表の引上げ及び勤勉手当等の支給率の改定を行うため、所要の改正を行うものです。

議案第24号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第9号)中、移住支援金交付事業(わかやま市型)1340万円について。

これは、県外から本市へ移住する方に対して交付するわかやま市型移住支援金について、交付対象者が見込みを上回ることとなったため、増額補正するものです。



なお、審査過程において、令和5年12月2日及び3日の津波注意報に伴う災害警戒本部設置状況、和歌山市事前復興計画の策定について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



録画中継



12月13日



12月15日

## 厚生委員会

当委員会に付託された議案10件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、母子生活支援施設運営事業3956万4千円について。これは、DVや経済的な問題などで、自立が困難になった母子世帯を施設へ入所保護し、自立を支援する扶助費について、入所保護世帯数が当初の見込みを上回ることとなったため、増額補正するものです。

保育体制強化事業620万6千円について。これは、保育士の業務負担軽減を目的に、遊具の消毒、給食の配膳、園外活動の見守りなど保育の周辺業務を行う者の配置を行った保育所等を支援する事業について、補助対象が当初の見込みを上回ることとなったため、増額補正するものです。



脱炭素化推進事業850万5千円について。これは、地域・暮らし分野の脱炭素化を推進するため、民間事業者や個人が設置する太陽光発電設備等の費用を助成する事業について、申請が予算額を上回る見込みであるため、増額補正するものです。

議案第24号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第9号)中、今福霊園管理運営事業210万8千円について。これは、墓地管理料の納付場所・納付時間を拡大し、納付環境の充実を図るため、キヤッシュレス決済やコンビニ収納に対応するためのシステム改修を行うものです。

なお、審査過程において、第9期和歌山市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(案)、チャレンジ健康わかやま(健康わかやま21(第3次))(案)、新型コロナウイルス感染症、マイナンバーカード普及促進事業に係る未受取のQUOカード、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



12月14日



12月18日



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、農業施設改良事業355万9千円について。これは、水路擁壁が倒壊するおそれがあるため、水路改良工事を行うものです。

日本遺産活用環境整備事業(周遊ルート施設整備)について。これは、日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」エリア内における看板、ベンチ設置及び雑賀崎灯台の市所管部分の外壁改修を行う事業が、国庫補助金事業として採択されたことに伴い、歳入を補正するものです。



雑賀崎灯台(現況写真)

コミュニケーションセンター整備事業

257万9千円について。これは、第8ブロックの(仮称)地域交流センター建設に当たり、近隣住宅のテレビ電波障害対策を行うものです。

議案第25号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、プレミアム付商品券事業5億8602万4千円について。これは、物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的としてプレミアム付商品券を発行し、市内での消費喚起を図り、地域経済の回復につなげるものです。

コミュニケーションセンター建設事業2億816万6千円について。これは、国補正を活用し、第8ブロックの(仮称)地域交流センターの整備を行うものです。

なお、審査過程において、中央卸売市場新青果棟整備内容と今後のスケジュールについて、第3次和歌山市教育振興基本計画(案)のパブリックコメント実施について、中学校給食センター整備運営事業の進捗状況について、附属機関の会議の開催について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見指摘及び要望がありました。

録画中継



12月14日



12月18日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案9件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第7号)中、まちづくり支援事業2000万円について。これは、閉園した旧中之島保育所を地域交流拠点施設として活用するための整備費を補助するものです。



閉園した旧中之島保育所

自動運転実証調査事業1000万円について。これは、地域住民や観光客等の移動手段の確保や、にぎわい創出を図るため、けやき大通りにおいて自動運転の実証運行を行うものです。

土地造成事業(繰出金)3億5685万7千円について。これは、スカイタウンつつじが丘分譲地の

販売が、令和5年度で終了することによる土地造成事業特別会計の清算に伴い、繰出金を補正するものです。

議案第24号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第9号)中、和歌山電鐵運行継続支援事業6505万円について。これは、新型コロナウイルス感染症等の影響により減収が続いている和歌山電鐵に対し、安全な運行継続を図るための設備修繕に係る費用について、支援を行うものです。

議案第25号、令和5年度和歌山市一般会計補正予算(第10号)中、地方道整備事業(河西橋)2億4200万円について。これは、国補正を活用し、河西橋架け替えに係る整備を行うものです。

準用河川改修事業3億9900万円について。これは、国補正を活用し、永山川の河川改修整備を行うものです。

なお、審査過程において、和歌山市水道ビジョン2024(素案)に対するパブリックコメントの実施などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



12月13日



12月15日

## 若者の声を市政に! 中高生とクロストーク



中高生が市議会を訪れ、「周産期うつ」を解決するために考案したアイデアについて発表し、市議会議員や市役所職員と意見交換を行いました。

若者がいつまでも住み続けたいと思える和歌山市の実現に向け、市議会としても全力で取り組んでいきます。

皆さんの声をお聞かせください!



議会広報アンケートにご協力をお願いします



実施期間:  
令和6年4月30日  
(火)まで

### 議員連盟

### 活動レポート

Vol.26

紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟と和歌山環状北道路及び紀淡海峡大橋建設促進和歌山市議会議員連盟は、新六箇井堰の一部撤去の早期事業完了、紀の川の整備の推進及び和歌山環状北道路の早期事業化について、各々活動を行っています。今年度も両議員連盟が合同で、国土交通省等に要望活動を行いました。



要望活動の様子

### 議員連盟

### 活動レポート

Vol.27

スポーツ振興・全国大会誘致和歌山市議会議員連盟は、スポーツ及び文化の振興や経済の活性化に寄与するため、本市で各種大会やイベントなどが開催されるよう誘致活動を行っています。このたび、さいたま市のさいたまスポーツコミッションを視察し、文化庁訪問では、和歌山城の活用方法等について意見交換を行いました。



文化庁訪問の様子

### 議員連盟

### 活動レポート

Vol.28

森林環境保全促進和歌山市議会議員連盟は、水源地の保護や森林環境保全等を啓発するために活動しています。その一環として、紀の川の水源である奈良県川上村から講師を招き、出前講座を開催しています。今年度は和歌山大学附属小学校、野崎西小学校、木本小学校で開催し、森の役割や水の大切さについて学習していただきました。



出前講座の様子

## 広報委員会からのお知らせ

### 市議会PR動画できました!

ショート動画です。スマホやパソコンからお気軽にご覧ください。



### 和歌山市議会広報委員会

**【委員長】** 中谷 謙二 **【副委員長】** 堀 良子  
**【委員】** 新古 祐子 山路 恭世 清末 博善  
堀 登美子 辻本 太一 林元 光広  
坂口 多美子 山野 麻衣子 永野 裕久

〒640-8511  
和歌山市七番丁23番地  
和歌山市議会広報委員会 宛  
TEL: 432-0022 (議会事務局)  
FAX: 424-9276  
Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



ご意見・ご感想は  
こちらから



和歌山市議会ホームページ    
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、再生紙及び植物油インキを使用しています。

